

女性活躍モデル工事

事例① 選手村トランスポートモール整備工事【都市整備局】



現場を巡回し、隔々まで目配りや気配りを行う土鼻さん（左）。

女性ならではの感性や目線により工事の品質を向上

本工事は、東京2020大会時に、選手が選手村と競技場等を行き来する際に使用する、バリアフリー型のバス発着場を整備するものです。女性技術者が活躍するために必要な環境を整えるため、鏡付きの洗面台を備えた女性専用のトイレを設置し、休憩所を男女別にする等、現場には、様々な工夫がなされています。また、立入禁止措置を行うために、女性型の安全柵を使用する等、女性が働く現場であることを、PRしています。



女性型安全柵の設置。

技術者の声

プロフィール



株式会社M I C
東京支店
選手村作業所
現場代理人 土鼻亜耶
1998年入社

体育大学在学中、初代が亡くなり母が会社を継承、母を助ける思いで意を決して大学を辞め、建設の世界へ。現場主義の熱血現場監督。

Q 試行工事に携わっていかがでしたか

二十一年前、私がまだ作業員として鍛えられていた頃から、既に女性作業員は工事現場におられました。当時は、農業と建設業を兼業する農家が多く、収穫のない冬期には、夫婦揃って工事現場に出て、男性作業員のサポート（脱型した型枠の清掃や目地詰め、側溝の泥上げ等）をされてました。私としては、今、現場で女性が活躍していることにスポットが当たり、従来の男女が協力して創る建設業のスタイルに戻ってきたのではないかと感じています。

Q 建設業を目指す方へのメッセージをお願いします

「好きこそものの上手なれ」幼少から、ものづくりが大好きで、私は導かれるようにしてこの世界に入りました。特に、着工前と完成の写真を並べて見ると、完成までの様々な現場ドラマが頭を駆け巡り、達成感がたまりません。人間は枠組みを決めて行動したい生物ですが、枠組みを外し「グリット」を持って、できる可能性は無限に広がると思います。ぜひ建設業へ！

* やり抜く力

思い出の現場

この現場です。現場代理人として、女性活躍をアピールできたことは、これまで頑張ってきた「ご褒美」だと思っています。社内一丸となり、女性向けのPR動画も制作しました。これからも女性活躍を推進し続けます。



見学・体験会参加者と記念撮影。



工学・物理・建設を専攻する女子学生を集め、現場において体験型見学会を開催。左中段：目地作業を体験する学生たち。